

ALBATECH NEWS

アルパテックニュース

スペースの有効活用
都市部に於ける
太陽光発電の未来



株式会社アルパテック
ALBA TECH アルパテックニュース
発行日：2015年4月15日
発行元：株式会社アルパテック 東京本社
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 3-27-1 大洋ビル 102
TEL: 03-5823-4580 FAX: 03-5823-4582
www.alba-tech.jp

2015
4月号
SIDE B

ALBATECH NEWS

アルパテックニュース

農業で太陽光発電
「SOLAR営農」
全国展開本格始動



WEB版アルパテックニュース！
弊社ホームページでアルパテックニュースのWEB用PDF版
(バックナンバー含む)をダウンロード出来るようになりました。

2015
4月号
SIDE A

「SOLAR営農」全国展開本格始動

大手販売パートナーが本格的に始動！

弊社の代表的な商品である「SOLAR 営農」。昨年11月に共同発売元である丸文株式会社を通し、株式会社ENEOS フロンティア、株式会社ミツウロコ、ヤンマーアグリジャパン株式会社という、強力な販売パートナーを得て、急速な全国展開が進みつつあります。また、それを受けて各地の販売パートナーも活発に販売を展開。全国各地で「SOLAR 営農」を受注し、次々に完工しています。

全国で次々に「SOLAR 営農」が完成

福岡県筑後市の営農型許可第一号を取得した「長原田 篠原ソーラー発電所」(48kW)が完成しました。



筑後市営農型許可第一号 長原田 篠原ソーラー発電所

ヤンマーアグリジャパン第一号は京都から

ヤンマーアグリジャパン株式会社の「SOLAR 営農」(36kW)第一号は京都府福知山市からスタートしました。営農としてミョウガ、パレイショ、アスパラ、ニラ、フキ、エンドウ等を作付け予定しています。

この京都府福知山市を皮切りに、北から青森県・岩手県・宮城県・千葉県・広島県・高知県・福岡県と次々に案件が進行しています。また、ヤンマーアグリジャパン株式会社では、「SOLAR 営農」に合わせて、屋根や野立での太陽光発電の提案も積極的におこなっています。



ヤンマーアグリジャパンの SOLAR 営農第一号

「長原田 篠原ソーラー発電所」は九州で初めての「SOLAR 営農」です。この発電所を皮切りに、九州エリアでの問い合わせも多く頂く事になりました。

また埼玉県深谷市にも新しい「SOLAR 営農」(24kW)が完成。今後、関東エリアでの展開も積極的におこなっていきます。



埼玉県深谷市の SOLAR 営農 (12kWx2 パック)

その他にも、岡田電機産業株式会社の展示会でのPRが実を結び始めるなど、全国で「SOLAR 営農」の販売・施工実績が確実に伸び続けています。

選ばれる営農型太陽光発電「SOLAR 営農」



2013年3月31日の農林水産省が公表したソーラーシェアリングのガイドラインの発表から、数多くの営農型太陽光発電商品が各社から発売されていますが、「SOLAR 営農」が他社と違う大きなポイントは、

- ・「一時転用の申請」
- ・「設計・施工」
- ・「システムや架台などの資材一式」
- ・「充実の保証と補償」

をワンパッケージにしてお客様に提供するというところ です。

また、当社の独自の特許工法「架台基礎一体型工法」は、建築物と同様の構造計算により耐震性を確保。風速40m/sec・積雪100cmまでの耐久性等、自然災害に強い架台を提供しています。当社には営農型太陽光発電に関するノウハウと蓄積されたデータがあります。是非、農地での太陽光発電は当社にお任せ下さい。

都市部に於ける太陽光発電の未来

都市部ならではの太陽光発電システム



関西外国語大学駐輪場 太陽光発電システム (上部より)

2015年3月、関西外国語大学(大阪府枚方市)の中宮キャンパスの駐輪場を利用した太陽光発電システムが完成しました。大学内という限られた空間の中に有る駐輪場の支柱を利用した都市型の新しい太陽光発電システムの提案といえます。

中宮学舎は、2003年にキャンパス内の人の集

による外気処理など様々な手法を採用し、環境配慮、省エネルギー対応という意味で先進性の高いキャンパスです。大学として、再生可能エネルギーへの関心も高く、今回のキャンパス内の駐輪場を利用した太陽光発電も、関西外国語大学ならではの、積極的な新しい取り組みといえるでしょう。

利用可能なものを再利用する試み

今回の施工では、キャンパス内に元々あった駐輪場の設備を利用しています。新しく作るだけでなく、利用出来るものを再利用するのも省エネルギーへの取り組みの一つではないでしょうか？



屋根の補強前

屋根に柱をつけて補強

補強が必要だった為に柱を追加しました。さらにパネルを取り付ける為に屋根に加工を施しています。キャンパス内には電柱がなく地下に電線が張り



関西外国語大学駐輪場 太陽光発電システム (側面より)

まる厚生棟広場の日除け、雨除けを兼ねたトップライトとして太陽光発電システムを設置しました。デザイン性に優れたその施設は、新エネルギーを取り入れたモデル建築物としての波及効果を認められ、一般社団法人新エネルギー財団より「新エネルギー財団会長賞」を受賞しています。また、太陽光以外にも、雨水利用、地中熱利用

巡らされています。その為に地下で電線を接続する等の工事をおこない、キャンパス内の美観を損ねることがないように考慮した施工をおこないました。



ケーブルの土中への埋め込み



ケーブルの埋め込み部分を復元



屋根へのパネル取付準備

施工した駐輪場三棟を利用して192枚(48kW)の太陽光パネルを設置しました。

都市部において、こういった学校や公共施設などの屋根や駐輪場等のスペースを利用した太陽光発電システムは、今後、再生可能エネルギーを生み出す大きな可能性を持っており、推進されていくべき、一つの方向性ではないでしょうか？